

平成28年度 益田市男女共同参画計画 進捗評価表

基本目標	基本施策	評価・課題	審議会からの意見・提案
目標Ⅰ 男女の人権の尊重			
施策1	人権尊重の意識づくり	講演会、人権展、カタリ場等による意識啓発を目的とした取組みでは、多くの市民の参加があり、アンケートから「新たな気づきに繋がった」ことが分析され、効果的であったと言える。また、相談体制の充実を目的とし、子ども・若者、障がい者等の課題に対する研修を実施し、関係機関担当者のネットワーク強化に繋がっている。これらの取組みを今後も継続する。	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の意識づくりの取組みについて、男女共同参画の視点をもう少し意識的に入れてほしい。
目標Ⅱ 安心・安全な暮らしの実現			
施策2	女性に対するあらゆる暴力の根絶	「女性に対する暴力をなくす運動」の街頭キャンペーン期間等を活用し、情報を発信した。また、若年層への啓発として、中学生を対象としたデートDV防止出前講座を実施したところ、アンケートでは「よく理解できた等」の回答が9割以上の高評価であった。これらの活動を通じ、対等な人間関係を築くことの大切さなどへの理解も深まり、人権教育としても有意義なものとして評価している。相談体制については、益田圏域の関係機関及び庁内関係課と連携し、充実を図っており、今後も継続し、連携を含め相談や支援体制の強化に取組む。	<ul style="list-style-type: none"> デートDV防止について、今後も取組みを継続してほしい。 DVに関して、深刻な内容のものがある場合には、早く警察や弁護士につなげてほしい。
施策3	生涯を通じた男女の健康支援	男女共同参画の推進には、市民が健康で明るく生活できることは重要なことである。そのために、健康診査やがん検診の受診率向上の取組みにより、前年を上回る受診率を達成したことは意識向上に繋がっていると評価している。 また、新規に産後母子デイクア事業を開始し、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援の充実が繋がっている。	<ul style="list-style-type: none"> 予約制の健康相談では一人暮らしの高齢女性の相談ができ、女性支援の視点が繋がっているが、もう少し男女共同参画の視点を意識してほしい。 定期健診の受診率が100パーセントになってほしい。受診に来られない方の確認が大切なことなので、来られない理由を知ることで受診率向上につながる。
施策4	安心して暮らせる環境づくり	定期的な会議により、情報共有や課題の検討を図ることで役割分担等の連携が可能となっている。今後も継続することが重要と考えている。しかしながら、施策（例えば、認知症施策）の周知について、年代によっては、興味関心の度合いから情報が伝わりにくい傾向が見受けられる。広く周知できるような様々な働きかけ方を研究する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢女性の経済的な問題について、実態調査をして課題把握をし支援につなげてほしい。
目標Ⅲ あらゆる分野における女性の活躍			
施策5	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	庁内においては、階層別研修や女性リーダーのためのマネジメント研修への参加などの効果もあり、女性管理職登用率が6.7ポイント向上した。また、審議会等への取組みは男女共同参画に関する情報提供等の意識啓発により、年々女性参画率は向上しており、前年度比0.9ポイント上昇した。継続して意識啓発や働きかけを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「女性リーダーのためのマネジメント研修」等の研修を積極的におこなってほしい。 こころカンパニーについて、認定数を増やす取組みに力を入れてほしい。
施策6	女性の活躍推進	女性の活躍推進に関する事業者へのアンケート調査を実施したことは、事業者への意識づけの一歩となった。また、ワーク・ライフ・バランス実現のための意識啓発活動として保育研究会保護者連合会と連携した働き方や家族との関わり方などの実体験を交えた講演会を実施したことにより、若い世代に対する意識啓発に繋がった。	<ul style="list-style-type: none"> 「職場における女性の活躍に関するアンケート」については早急に分析等をし、具体的な支援について明らかにしてほしい。
目標Ⅳ 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備			
施策7	男女共同参画の視点に立った各種制度の整備	多様な保育ニーズに対応するため、市内保育所と連携した保育サービスを提供した。しかし、ファミリーサポートセンター事業では、提供会員が少なく、スキルアップを含め、一層の周知が必要である。放課後児童クラブやボランティアハウスで受け入れ活動しているが、それぞれ実施場所や人材の確保に課題がある。一方で、家庭で高齢者等を介護されている方に対しては、介護知識の習得のための支援やリフレッシュ対策を講じており、今後も、必要に応じて利用できるよう継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> 意見なし
施策8	男女共同参画の視点に立った防災体制の確立	防災講演会では、避難所運営に女性や子どもの視点を反映させることの重要性を参加者に理解いただいた。しかし、避難訓練には、全体的に女性の参画が少なく、災害時に十分な避難所運営となるか不安視せざるを得ない。今後、防災分野での男女共同参画を推進するための一層の意識啓発や呼びかけが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 「益田市避難所運営マニュアル」について、男女のプライバシー等の欄への男女共同参画の視点をしっかり入れて見直しをしてほしい。